



JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



グローバルイノベーションインデックス 2016

グローバルイノベーションインデックス 2016: スイス、スウェーデン、イギリス、アメリカ、フィンランド、 シンガポールが上位を占め、中国がトップ 25 にランクイン

ジュネーブ、2016年8月15日- コーネル大学、INSEAD、世界知的所有権機構(WIPO)によって本日発表されたグローバルイノベーションインデックスの2016年版ランキングでは、スイス、スウェーデン、イギリス、アメリカ、フィンランド、シンガポールが上位にランクした一方で、中国が世界で最も革新的な経済圏のトップ 25 にランク入りしました。

中国のトップ 25 入りは、世界 100 ヶ国以上のイノベーション能力を調査してきた過去 9 年間において、中所得国が初めてグローバルイノベーションインデックス(GII)の上位を独占してきた高度先進経済国に加入したことを記録するものでした。中国の進歩は、国家の改良されたイノベーションパフォーマンス及び GII のインプルーブドイノベーションインデックスのような方法論的評価を反映しています。

中国の進歩に関わらず、政策立案者間でイノベーションの強化が活気に満ちた競争経済にとって重要だという意識が高まる中、「イノベーションディバイド」は先進国と発展途上国の間で存続しています。

イノベーションには継続的な投資が必要です。2009年の経済危機以前、研究開発の支出は年間約7%のペースで増加しました。GII 2016のデータは、2014年の世界の研究開発の増加率がわずか4%だったことを指摘しています。これは、新興経済国の低迷と高所得経済における研究開発予算の緊縮財政が原因で、今後の懸念材料でもあります。

WIPOのジェネラルディレクター、Francis Gurryは「イノベーションへの投資は長期的な経済成長にとって必要不可欠です。」と述べています。「現在の経済環境の中で、新しい成長源を見出し、世界のイノベーションがもたらしたチャンスを活用することは、全ステークホルダーにとっての優先事項です。」

トップランキング

1	スイス (2015年第1位)	14	香港(中国) (11)
2	スウェーデン (3)	15	カナダ (16)
3	イギリス (2)	16	日本 (19)
4	アメリカ (5)	17	ニュージーランド (15)
5	フィンランド (6)	18	フランス (21)
6	シンガポール (7)	19	オーストラリア (17)



Confederation of Indian Industry



ATKearney





7	アイルランド (8)	20	オーストリア (18)
8	デンマーク (10)	21	イスラエル (22)
9	オランダ (4)	22	ノルウェー (20)
10	ドイツ (12)	23	ベルギー (25)
11	韓国 (14)	24	エストニア (23)
12	ルクセンブルグ (9)	25	中国 (29)
13	アイスランド (13)		

GII 2016 のリーダーである4つの経済国、日本、アメリカ、イギリス、ドイツは、大学の質、科学文献、国際的な特許申請の数を調査したトップレベルの指標である「イノベーションクオリティ」において傑出しています。中国はイノベーションクオリティにおいて17位にランクしたことで、この指標において中所得国の中でトップとなり、それに続いてインドがブラジルを超えてランク入りしました。

コーネルカレッジオブビジネスの学長である Soumitra Dutta と報告書の共同編集者は、「イノベーションクオリティの向上に投資することは、イノベーション格差を埋めるために必要不可欠です。各組織がそのために必要な協力的枠組みを作成する一方で、経済は急速に変化するグローバル化社会で競争に勝ち抜くために、教育の改革と調査の向上に集中する必要があります。」と指摘しています。

GII 2016 テーマ：「グローバルイノベーションで勝つ」

今年の GII のテーマは「グローバルイノベーションで勝つ」です。報告書は、グローバル化したイノベーションネットワークによって発生し、近年増加しているイノベーションの役割について調査しています。そして、知識や人材の国境を超えた動きの拡大に伴って、国際的なイノベーションによる利益はより広い範囲で共有できると結論付けました。また、報告書は、更なる経済成長を強化するために、国際企業と公的研究開発の協力を拡大する十分な余地があると結論付けています。

INSEAD、グローバルインディスイーズ、エグゼクティブディレクターの Bruno Lanvin とレポートの共同著者は、「グローバルイノベーションは『次の手』を探し求めた結果のトレンドにすぎない、という人がいるかもしれませんが、しかし、国際的な貿易と投資の流れの相対的な縮小は、グローバルイノベーションの2点において、戦略的な面でさらに重要な意味を持ちます。1点目は、より多くの新興国がイノベーターとして成功すること、2点目は国境を越えた協働によるイノベーション利益の割合が増加することです。」

報告書では、イノベーション政策は、国際的なコラボレーションと国境を超えた知識の普及を国家レベルでより明確に優遇すべきだとしています。また、新しい国際的統治体制においても、途上国に対して、また途上国間で、テクノロジー普及の拡大を目指すべきだとしています。

GII ノリッジパートナーでグローバルコンサルタントの A.T. カーニーの会長及びマネージングパートナーの Johan Aurik は、「デジタルは、ほぼ全セクターのビジネスにおいて、戦略展開とイノベーションの主要な推進力となってきました。私は、これはただの始まりに過ぎないと考えています。」





特に、すでに確立している組織にとって、現在の人材と実務を引き続き使用したうえで、組織を転換しながら、上手にイノベーションを取り入れる方法を見つけることは近年の課題となっています。昨今の新しい環境で成功を収めるためには、デジタルを取り入れ、企業で働く際の基本的な姿勢を変える必要性に言及し、創造的で、未来志向な戦略が必要になります。」と述べています。

地域のイノベーションリーダー

地域/ ランク	名前	GII2016 ランク
北アメリカ		
1	アメリカ	4
2	カナダ	15
サブサハラアフリカ		
1	モーリシャス	53
2	南アフリカ	54
3	ケニア	80
ラテンアメリカ、カリブ海		
1	チリ	44
2	コスタリカ	45
3	メキシコ	61
中央及び南アジア		
1	インド	66
2	カザフスタン	75
3	イラン・イスラム共和国	78
北アフリカ、西アジア		
1	イスラエル	21
2	キプロス	31
3	アラブ首長国連邦	41
東南アジア、東アジア、オセアニア		
1	シンガポール	6
2	韓国	11





地域/ ランク	名前	GII2016 ランク
3	香港(中国)	14
ヨーロッパ		
1	スイス	1
2	スウェーデン	2
3	イギリス	3

北アメリカ

アメリカ (4位) は、国際的な研究開発を実践する企業の存在、ベンチャーキャピタルを含めた金融市場の高度化、大学及び科学文献の質、ソフトウェアの支出、イノベーションクラスターの状態を含めた特定の強みによって、世界で最も革新的な国の1つとして引き続き存在しています。しかしながら、アメリカは教育に対する支出、科学や工学分野を修了する学生の割合が低い高等教育、エネルギーの効率性、今後の成長に重要な経済全体に対する投資と生産性において、低い評価を受けました。

カナダ (GII 総合 15位) は、規制環境、起業のしやすさ、ベンチャーキャピタルを含む金融市場の高度化、大学及び科学文献の質、オンラインの創造性において高得点を得ました。しかし、主に方法論的变化、教育と研究開発に対する支出、情報とコミュニケーションテクノロジー (ICT) サービス、エネルギーの効率性、そして、アメリカに類似して、経済全体に対する投資と生産性における比較的乏しいパフォーマンスのために、カナダは GII ランキングで前年に比べて順位を下げました。

サブサハラアフリカ

モーリシャス(53位)が地域の経済圏全体でトップにランクし、次に南アフリカ(54位)、ケニア(80位)、ルワンダ(83位)、モザンビーク(84位)、ボツワナ(90位)、ナミビア(93位)、マラウイ(98位)が続きます。

2012年以降、サブサハラアフリカは、予想された開発レベル以上に成果を上げた国を評価する「イノベーションアチーバー」の項目グループで、他の地域以上の数の国がランク入りしています。今年は、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ルワンダ、ウガンダが傑出しています。サブサハラアフリカは、公共機関、ビジネスの高度化、知識及びテクノロジーの





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



アウトプットの指標でランクを上げたため、中央及び南アジアに追いつき、北アフリカと西アジアを超える結果となりました。

地域の平均的パフォーマンスについては、起業のしやすさ、ICT、ビジネスモデルの作成、教育への適切な支出が優秀で、企業の国際的な研究開発の実践、ハイテクの輸出、大学の質と科学文献の数に弱さが見られました。全体的には、人材、リサーチ、インフラに対してさらなる努力が必要と評価されました。

GII2016 は、サブサハラアフリカの経済成長が減速しているため、サブサハラアフリカは石油生産とコモディティから距離を置き、経済を多様化し続ける一方で、現在のイノベーションの勢いを維持しなければならないと指摘しています。

ラテンアメリカとカリブ海

チリ(44位)は、公共機関、インフラ、ビジネスの高度化が評価され、地域の全経済圏においてトップにランクしました。次には、コスタリカ(45位)、メキシコ(61位)、ウルグアイ(62位)、コロンビア(63位)が続きます。ブラジルは、適切な教育と研究開発要因、科学文献の質、ハイテク生産が評価され、69位にランクしました。しかし、ビジネス環境(123位)、高等教育の要素(111位)、さらに全体的に、イノベーションアウトプットを作成する能力と新しいビジネスの創造が弱いと評価されました。

ラテンアメリカは、未開発で重要なイノベーション潜在能力がある地域です。近年、地域経済圏の GII ランキングでは、他の地域に比べて著しい成長を遂げているとは言えません。そして、この地域では現在、自国の GDP より高いパフォーマンスをしている国はありません。

レポートでは、ラテンアメリカ、特にブラジルが経済混乱の最中にあるため、短期的な政治及び経済の制約を克服し、長期的なイノベーションに対する関与を倍加することが重要だとしています。今年の GII テーマでも強調されたように、より大規模な地域的な研究開発とイノベーション協力は、この過程において地域の助けとなることができます。

中央及び南アジア

66位のインドは、高等教育と国際研究開発を専門とする企業を含めた研究開発、大学と科学文献の質、市場の高度化と ICT サービスの輸出において1位にランクすることで、特定の強さを見せ、中央及び南アジアの経済圏でトップにランクしました。また、インドは、イノベーション分野において自国の GDP を凌ぐパフォーマンスをしました。中所得経済圏においては、イノベーションクオリティで2位にランクし、ブラジルを超えました。ビジネス環境、教育費用、新事業の創造、クリエイティブな商品とサービスの生産に、相対的な弱さが見られました。



Confederation of Indian Industry





「インドのイノベーションと向上したイノベーション指標に対する誓約は強固で、拡大を続け、イノベーション環境を改良する一助となっています。」と、インド産業連合(CII)のディレクタージェネラルの **Chandrajit Banerjee** は述べています。この地域では、インドに続いてカザフスタン (75 位)、イラン・イスラム共和国 (78 位)、タジキスタン (86 位)、スリランカ (91 位)、ブータン (96 位) がランクしました。

北アフリカと西アジア

この地域におけるトップ 5GII パフォーマーの中で、アラブ首長国連邦 (41 位)、サウジアラビア王国 (49 位) の 2 ヶ国が湾岸協力会議 (GCC) のメンバーです。多くの GCC 加盟国は、数十年にわたる石油依存に続いて、自国経済の多様化に務めており、イノベーション志向、多様な資金源による成長、公共機関、市場、ビジネスの高度化のような相対的な短所の克服に目先を変えています。

「イノベーションはもはやサイロでは起こりません。今日、それは国境を超え、相合利益を創造するために、多様なエンティティ同士のコラボレーションによって起こります。アラブ首長国連邦はスマートシティ計画を通じて、イノベーションを国際的に先導するグローバル戦略を普及し、多大な利便性と満足、最高の幸せを全ての人々に提供します。」と、du の CEO である **Osman Sultan** は述べています。

GII ランキングの総合トップ 25 と GII ピラーのトップ 10 の中に常にランクしている唯一の経済圏、イスラエル (21 位)、そして、キプロス (31 位) は、この地域で 4 年連続してランク入りしているトップ 2 です。トルコは 2016 年、この地域で 4 位にランクし、全体では 42 位でした。アルメニア (60 位) は、この地域で唯一自国の GDP を凌ぐパフォーマンスをした経済圏です。

この地域は、ICT アクセスと ICT 志向のビジネスモデルの創造、電子政府、生産性の向上において最も高い平均点を出しています。優れたパフォーマンスは、ハイテク輸出、特許、文献の質に見られました。

東南アジア、東アジア、オセアニア

シンガポール (6 位)、韓国 (11 位)、香港 (中国) (14 位)、日本 (16 位)、ニュージーランド (17 位) がこの地域のランキングを先導しています。GII のイノベーションリーダーの大多数が、この地域またはヨーロッパに存在しています。

上流中産所得経済圏の中で、中国 (25 位)、マレーシア (35 位)、タイ (52 位) がこの地域の 1 位にランクしました。ベトナム (59 位) は下流中産所得経済圏の中でトップを維持し、それにフィリピン (74 位)、インドネシア (88 位) が続きます。低所得経済圏のカンボジア (95 位) は総合トップ 100 経済圏の地位を維持しています。





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



この地域の1番の強みは、生徒に対しての教員の数と生産性の向上にあり、外国企業によって資金提供を受けている研究開発、ICTサービスの輸出と輸入、知的所有権の受領には低いスコアがつけました。

ヨーロッパ

GII トップ25 経済圏のうち、トップ3を含む15か国がヨーロッパに存在しています。スイスは6年連続でトップの座を維持しており、次にスウェーデン(2位)、イギリス(3位)が続きます。これらトップ3の地域リーダーに続いて、フィンランド(5位)、アイルランド(7位)、デンマーク(8位)、オランダ(9位)がランクし、そして2016年、ドイツ(10位)が初めてトップ10入りしました。

ヨーロッパは比較的優秀な公共機関と十分に開発されたインフラの恩恵を受けている一方で、ビジネスの高度化と知識とテクノロジーアウトプットに改善の余地が見られます。ヨーロッパは特に、環境パフォーマンス、ICTアクセス、平均的な学生期間において好成績でした。しかし、ビジネスセクターから資金提供を受けている研究開発、外国企業から資金提供を受けている研究開発、ハイテク輸出、国際特許の出願には改善の余地があります。



Confederation of Indian Industry





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



グローバルイノベーションインデックスについて

グローバルイノベーションインデックス 2016 (GII) は今年で第 9 版となり、コーネル大学、INSEAD、世界的所有権機構 (WIPO は国連の専門機関) によって共同出版されました。

GII は 2007 年より毎年発行されており、現在では企業幹部、政策立案者、そして世界中でイノベーション状況の洞察を検索している人々にとって、有数の評価手段となっています。政策立案者、ビジネスリーダー、その他のステークホルダーは、進歩を継続的に評価する際に **GII** を利用しています。今年の研究は、ノリッジパートナーの A.T. カーニー、IMP³rove – 欧州イノベーション経営アカデミー、インド産業連合、du、国際的な専門家のアドバイザリーボードの知識の恩恵を受けました。

GII レポートの中心は、世界経済のイノベーション能力と成果によって構成されています。経済発展と繁栄のための推進力、先進国と新興国の両経済に適用できるイノベーションの幅広いビジョンにとっての必需品としてイノベーションの重要な役割を把握するために、**GII** には研究や開発レベルのような伝統的なイノベーションの物差しを超える指標が含まれています。

国際的なイノベーション議論をサポートし、政策を導き、優れたパフォーマンスに注目するため、指標はイノベーションと政策パフォーマンスを査定します。**GII** は、下記の項目を含め、イノベーションの要因が継続的に評価される環境を作り上げてきました。:

- データ、ランキング、82 項目の長所と短所を含めた 128 ヶ国のプロファイル
- 30 件以上の国際的な公的および私的情報源によって作られた指標に対する 82 件のデータテーブル、内 58 件はハードデータ、19 件は複合指標、5 件はアンケート調査による
- それぞれのインデックスランキング (GII、アウトプットとインプットのサブインデックス) に対する 90% の信頼区間を含んだ、透明性があり、複製可能な計算式とランキングにおける対前年比の変化に影響した要因の分析

GII2016 は、2 つのサブインデックスの平均として計算されます。イノベーションインプットサブインデックスは、以下の 5 つの柱に分類された革新的な活動を具体化している国家経済の要素を正確に測定します: (1) 公的機関、(2) 人材と調査、(3) インフラ、(4) マーケットの高度化、(5) ビジネスの高度化。イノベーションアウトプットサブインデックスは、2 つの柱からなり、イノベーションによる成果の実際の証拠をとらえています。: (6) 知識とテクノロジーのアウトプット、(7) 創造的なアウトプット。

インデックスは Joint Research Centre of the European Commission によって、独立した統計監査に提出されます。報告書の詳細はこちらのサイトからダウンロードできます。: www.globalinnovationindex.org.



Confederation of Indian Industry





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



コーネル大学について

コーネルは私立の研究大学で、ニューヨーク州立大学のパートナーです。ニューヨーク州の公有地を提供されている機関のため、私たちには、州、国家、世界の生活水準の向上をサポートするための公的な任務を最優先順位におき、全ての知識分野に貢献する責任があります。コーネル大学の Samuel Curtis Johnson Graduate School of Management は、結びつきの強い世界における革新的なビジネス教育のリーダーでもあります。世界でトップクラスのビジネススクールとして定期的にランキング入りしており、Johnson はアメリカ、カナダ、ラテンアメリカ、メキシコ、中国で 6 つの MBA プログラムを提供しています。

INSEAD、世界のビジネススクールについて

世界でも有数の、そして最も規模の大きいビジネススクールの 1 つとして、INSEAD は実に国際的な学習体験を参加者に提供しています。ヨーロッパ（フランス）、アジア（シンガポール）、中東（アブダビ）にあるキャンパスでは、INSEAD のビジネス教育と研究が 3 つの大陸にまたがって行われています。40 か国以上 148 名の名高い教員たちが、当校の学科と博士号のプログラムに参加する年間 1300 名の生徒を奮起させています。更に毎年、9500 人以上のエグゼクティブが INSEAD のエグゼクティブ教育プログラムに参加しています。

2016 年、INSEAD の MBA、Executive MBA、Single School Executive MBA の 3 つの全 MBA プログラムが Financial Times のそれぞれのカテゴリーで 1 位にランクしました。INSEAD に関する詳細な情報はこちらのサイトよりご覧下さい：www.insead.edu

WIPO について

世界知的所有権機構(WIPO)は、知的所有権政策、サービス、情報、協力のために設立された国際フォーラムです。国連の特別機関である WIPO は、189 のメンバー国に対して、社会で増加している需要に対応するために、バランスの取れた国際知的所有権の法的枠組みを開発する手助けをしています。そして、知的所有権を複数の国で得たり、論争を解決したりするためのビジネスサービスを提供しています。また、知的所有権の使用によって途上国をサポートする能力強化プログラム、更には、知的所有権情報の知識バンクへの無料アクセスを提供しています。

ノリッジパートナーズ

2016 年、インド産業連合、du、A.T. Kearney、IMP³rove - 欧州イノベーション経営アカデミー は、ノリッジパートナーズとして共同参画しています。

ノリッジパートナーズは国家の競争力の向上、経済発展を可能にすること、社会変化の推進、国家の未来に対する基盤作りにおけるイノベーションの役割を信じています。

ノリッジパートナーズは、価値のある、公平な知識源を提供することを約束し、分析チャプターまたはケーススタディへの貢献、議論への参加および GII の結果の普及に携わることで、GII の労作をサポートします。



Confederation of Indian Industry





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



CII について

インド産業連合(CII)は、助言やコンサルティングを通じて、産業や政府とパートナーになることで、インドの産業の発展を伝導する環境を作り、維持するために努めています。CIIは非政府、非利益、産業志向、産業運営の組織で、インドの発展過程において自発的な役割を担っています。1895年の設立以来、インドの一流ビジネス組合として、SMEsとMNCsを含む公民両セクターによる7900名以上のメンバー、約240ヶ国から200000社を超える企業、地域のセクター産業団体による二次メンバーによって構成されています。

du について

中東及び北アフリカ地域で急速に発展している電気通信プロバイダーとして、duはアラブ首長国連邦において、7.5百万以上の個人顧客と80000以上のビジネス顧客を相手にサービスを提供しています。アラブ首長国連邦経済における主要な企業として、私たちはUAE's Vision 2021に関連して、イノベーションアジェンダを更に推進するために、政府とパートナーとなったことを誇りに思っています。2007年に操業を始め、携帯電話、固定電話、ブロードバンド接続、IPTVサービスを提供してきました。近年は、私たちはビジネス顧客に対する通信事業サービスやテレビ放送局のサテライトのアップ及びダウンリンクサービスを提供しています。

A.T. カーニー について

A.T. Kearneyは、40か国以上に拠点を有する、世界有数のグローバルな経営コンサルティング会社です。1926年の以来、私たちは世界の有力組織の信頼あるアドバイザーであり続けてきました。A.T. カーニーは共同経営による会社で、顧客の最重要課題に対して短期的な成果をもたらすと共に、持続的な成長を支援することをお約束します。詳細についてはサイトをご覧ください。www.atkearney.com

IMP³rove – 欧州イノベーション経営

IMP³rove - 欧州イノベーション経営アカデミーは、イノベーション経営のベンチマーク、顧問サービス、トレーニングを提供しています。IMP³rove アカデミーは、イノベーション経営とグローバルネットワークに対する全体的なアプローチを持って、イノベーション経営査定と関連サポート事業に対する基準を定めています。IMP³rove アカデミーは欧州委員会の主要プログラム「IMP³rove」から派生しました。詳細な情報についてはサイトをご覧ください。www.improve-innovation.eu



Confederation of Indian Industry





JOHNSON
Cornell University

INSEAD
The Business School
for the World®



メディアコンタクト

組織	名前	メール	電話
Cornell University	Shannon Dortch	sd63@cornell.edu	+1 607 255 6417 +1 607 279 0028
INSEAD Europe	Sophie Badré	sophie.badre@insead.edu	+33 1 60 72 4526 +33 6 86 07 33 75
WIPO	Samar Shamoon Edward Harris	samar.shamoon@wipo.int edward.harris@wipo.int	+41 22 338 8161 +41 22 338 7224



Confederation of Indian Industry



ATKearney

